

# 安全データシート

作成: 2009年 5月28日

改訂: 2023年 5月 2日

## 1. 製品及び会社情報

整理番号 : KX019-02  
製品名 : マイノー  
会社名 : クミアイ化学工業株式会社  
住所 : 東京都台東区池之端 1-4-26  
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課  
電話番号 : 03-3822-5180  
FAX番号 : 03-3823-6830  
緊急連絡先 : 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)  
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品のGHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	: 区分3
健康に対する有害性	生殖毒性	: 区分1B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性) 区分3(麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1(中枢神経系、視覚器)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	: 区分2
	水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分3

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

### GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語: 危険

#### 危険有害性情報

- ・引火性液体および蒸気
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- ・臓器(中枢神経系、視覚器、全身毒性)の障害
- ・眠気又はめまいのおそれ
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(中枢神経系、視覚器)の障害
- ・水生生物に毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に有害

#### 注意書き

##### 【安全対策】

- ・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・容器を接地しアースをとること。
- ・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- ・環境への放出を避けること。

##### 【応急処置】

- ・皮膚又は髪に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
- ・火災の場合:消火するために適切な消火剤(5. 火災時の措置参照)を使用すること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
- ・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

##### 【保管】

- ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。容器を密閉しておくこと。
- ・施錠して保管すること。

##### 【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性: 空気との混合により、爆発性混合気体を生成するおそれがある。

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名／一般名: ポリアルキレングリコールアルキルエーテル

成分及び含有量:	ポリアルキレングリコールアルキルエーテル	27.0%
<その他>	メタノール	40.0%
	ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン	1.6%
	水、消泡剤	

官報公示整理番号:	化審法 (2)-201	メタノール
	(4)-38	ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン

CAS No.:	67-56-1	/	メタノール
	40766-31-2	/	ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン

### 4. 応急措置

吸入した場合: 被災者を速やかに空気の新鮮な場所に移す。異常が現れた場合には、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合: 汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせ、付着部を多量の水と石鹼でよく洗浄する。異常が現れた場合には、医師の診断を受ける。

眼に入った場合: 直ちに清浄な流水で 15 分以上洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合: 口の中をすすぎ、直ちに医師の診療を受ける。意識がないときには口から何も与えてはならない。無理に吐かせてはならない。医師の診断を受ける。

### 5. 火災時の措置

消火時の注意: 消火活動には適切な保護具(自給式空気呼吸器等)を着用し、風上から作業する。

高温により発生するガス、煙を吸い込まないように注意する。火災の熱で容器が爆発することがある。散水して容器を冷却する。消火水が下水や河川等の水系に流れ込まないように適切な処置をとる。

適切な消火剤: 粉末、泡沫、炭酸ガス、水

使ってはならない消火剤:情報なし

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを取り除く。適切な保護具(保護衣、保護眼鏡、保護マスク等)を着用して、眼や皮膚に触れたり、液滴やガスを吸い込まないようにする。

環境に対する注意事項:

漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

漏出物を土、砂等に吸収させ、密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

局所排気装置を設置し、換気のよい場所で行う。着火源となるものの付近では取扱いをしてはならない。適切な保護具を着用し、ガスやミストを吸い込んだり、眼、皮膚に触れたりしないようにする。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。

保管

換気のよい冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かない危険物倉庫に施錠して保管する(火気厳禁)。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。

保護具:状況に応じた適切な保護具を着用する。

保護マスク、保護眼鏡、保護衣(長袖・長ズボン)、ゴム手袋  
作業時に使用していた衣類等は他のものと分けて洗濯する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観等	:微黄色粘稠液体
臭い	:データなし
pH	: 4.5~6.5
融点/凝固点	:データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	:データなし

引火点	: 26.3°C
自然発火点	: 常温で空気と接触しても自然発火しない。
可燃性	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限界／可燃範囲	: データなし
相対ガス密度	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 0.92
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし
10. 安定性及び反応性	
反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常取り扱い条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 空気との混合により、爆発性混合気体を生成するおそれがある。
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 燃焼すると有害なガス(CO 等)が発生する可能性がある。
11. 有害性情報	
急性毒性(経口)	: ラット LD <sub>50</sub> ♂ 8,398 mg/kg , ♀ 4,588 mg/kg
急性毒性(経皮)	: ラット LD <sub>50</sub> > 2,000 mg/kg (死亡例及び中毒症状無し)
急性毒性(吸入:蒸気)	: 混合物に1%以上含まれる成分で毒性情報のあるものは、全て区分に該当しない。毒性未知成分量は32.2%
皮膚腐食性／刺激性	: ウサギ 刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: ウサギ 眼刺激性なし
呼吸器感作性	: 製剤のデータなし
皮膚感作性	: モルモット 陰性
生殖細胞変異原性	: 製剤のデータなし
発がん性	: 製剤のデータなし

生殖毒性	: 区分1Bに分類されるメタノールを濃度限界である0.3%以上含有することから区分1Bとした。毒性未知成分量は32.2%
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)に分類されるメタノールを濃度限界である10%以上含有し、また区分3(麻酔作用)に分類される同成分を濃度限界である20%以上含有することから区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)、区分3(麻酔作用)とした。毒性未知成分量は30.2%
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1(中枢神経系、視覚器)に分類されるメタノールを濃度限界である10%以上含有することから区分1(中枢神経系、視覚器)とした。毒性未知成分量は30.2%。
誤えん有害性	: 製剤のデータなし

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性):

コイ、緑藻の毒性データにより区分2とした。

水生環境有害性 長期(慢性):

慢性区分に分類される成分含量及びその毒性値から推定し、区分3とした。毒性未知成分量は30.2%。

生態毒性

魚類	: コイ LC <sub>50</sub> 3.0 mg/L (96時間)
甲殻類	: オオミジンコ EC <sub>50</sub> 19.7 mg/L (48時間)
藻類	: 緑藻* ErC <sub>50</sub> 4.9 mg/L (24-72時間) (* <i>Selenastrum capricornutum</i> )

残留性・分解性 : 製剤のデータなし

生体蓄積性 : 製剤のデータなし

土壌中の移動性 : 製剤のデータなし

オゾン層への有害性 : 製剤のデータなし

その他 : なし

## 13. 廃棄上の注意

使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

#### 14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輦、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 : クラス3(引火性液体)容器等級Ⅲ

国連番号 : 1993(その他の引火性液体)

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 消防法、道路法の規定に従う。

#### 15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第12844号 (日本農薬株)

消防法 : 危険物第四類第二石油類、非水溶性

労働安全衛生法 : 施行令別表第6の2(有機則対象物質):メタノール(政令番号42)  
施行令第18条、第18条の2(表示・通知対象物質):メタノール(政令番号560)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

: 第一種指定化学物質 653 ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン

毒物劇物取締法 : 非該当(劇物のメタノールを含むが混合物であり該当しない)

#### 16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法

2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針

2019年6月 社団法人 日本化学工業協会

- 3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会
- 4) GHS文書 改訂第6版(2015年)
- 5) 日本農薬(株) マイノー 安全データシート (2022年11月21日改訂版)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間) 一般市民向け相談電話(無料) 072-727-2499

医療機関専用有料電話 072-726-9923

つくば(毎日9時~21時) 一般市民向け相談電話(無料) 029-852-9999

医療機関専用有料電話 029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。